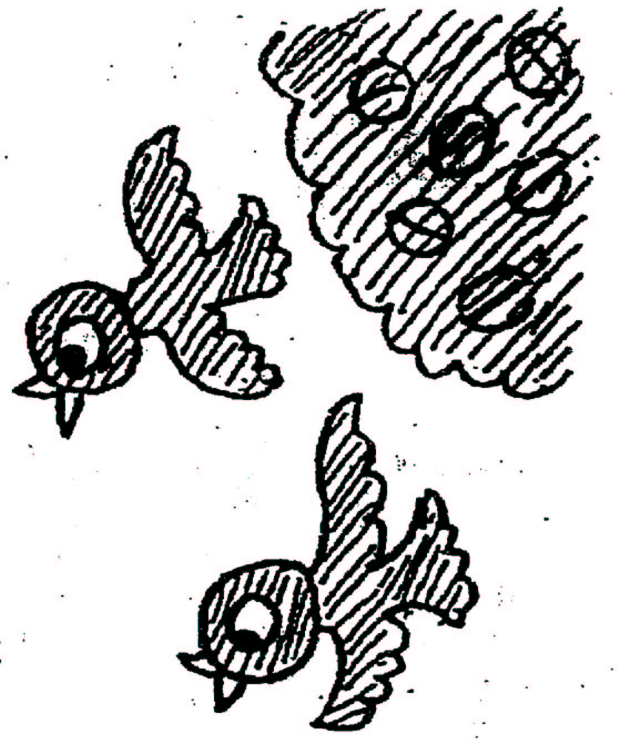




1995. 6. 6 No. 47

インターンシップ

会



# 今回は大人教

## 7月19日出発!

## 行ってきま〜す

いよいよ夏の現地訪問団が出發です。  
7月19日福岡と出發。8月4日帰国の予定  
です。

日本人だけで十数人になりそう。それにラフマン  
さんの家族、シャヒダさん、高校生になったシャ  
ヒンくん、4オになったシャハナちゃん。

どんなに村の人たち  
は待っているでしょう。

村ではまず母子保健  
センターの開院式。

帰国を

おたのしみ

に!



# 旅費カンパを よろしく おねがいします

どんな人が行くの？

ニノ坂さんのほかに 女性のドク  
ター、そして看護婦さんは去年  
ひとりだったのに、ぐーんとふえ  
ました。

教育は大木さんのほかに  
美術の先生、英語ペラペラの  
お兄さん、それに中学二年生  
の男の子が二人。

村の人たちと、どんなに楽し  
い交流か、できるとしよう。

一人ひとりのご紹介は  
次号をおたのしみに

開院式がおわったら

新しい建物でドクター・ノルジャマン、ピロフジ  
ドクターと一緒に診療開始ノ。

幼児学級、第一、第二(ジャパニ)、第三と  
三つの小学校、カラム、テイ中学校、夜間学  
級と交流、懇談、

うた、ゲーム……

旅費、滞在費が  
ずいぶんかかり

そうです。

旅費カンパを

よろしくおねがい  
します。





## 母子保健センターの医療機器を送りました

多くの方々のご協力で集まりました、カラムディ村母子保健センター開設のための医療機器が、5月26日山下医科器械の倉庫から出て門司へ。さらに6月4日門司港から船出しました。コンテナによる船の旅、バングラデシュ国内での汽車の旅のあと、カラムディ村に到着予定です。今のところ7月の現地訪問に間に合うと思いますが、気候や国内の交通事情によっては遅れる可能性もあります。ともかく母子保健センター開設の一つの条件である、医療器械がまず確保できることになりました。ノルジャマン医師、看護婦の確保とともに大きな前進です。

今回の医療機器募集に当たっては、数多くの方々のご協力を得ました。紙面を借りてお礼申し上げます。特に以下の方々には多大なご協力をいただきました。

辻村医院（北九州市八幡東区）：診療器械、外科手術器械、ほか多数

高尾クリニック（北九州市八幡西区）：超音波診断装置

宇土さん（北九州市小倉北区）：車椅子2台

青木さん（三共製薬）：電子体温計500本

丸木陽子先生（福岡市）：ポータブル超音波診断装置、折り畳みベッド、手術器械など。

渡部敏助先生（福岡市）：オートクレイブ（高圧蒸気滅菌器）

吉川病院：患者用ベッド、心電計

以上のほかにも、朝日新聞、毎日新聞など、募集の呼びかけをして下さったマスコミ各社、各地の医療機関に器械を取りに行ったり、長期間倉庫で保管していただき、搬送の際は会社を上げてご協力いただいた山下医科器械のみなさん、船便の交渉をして下さった、門司港運の池田さん、などなど今回も多くの方々のご好意に支えられていることを強く感じました。

今後は、現地訪問の際にビレッジドクターたちと相談して、必要な機器をリストアップし、日本で募集して、年に1回程度日本から送る予定です。また、日本からの支援のみでなく、現地での調達も今後の課題です。もちろん設備・器械の面ばかりでなく人の育成、村全体の生活改善、衛生環境や衛生意識の向上なども必要です。

これからもバングラデシュと手をつなぐ会は、村人とともに考え、歩いていきます。

会員の皆さん、協力者の皆さん、今後ともどうぞよろしくお願いします。



# バザー ご協力ありがとうございました!

前日までの雨が上がりさわやかな初夏の風が吹く6月4日の日曜日恒例のバン格拉デシュと手をつなぐ会主催のチャリティーバザーが盛大に開かれました。今回も数多くの方からいただいた品々や即興詩人の天然酵母のパンなどを西新商店街で販売しました。品物の品質や格安の値段からとても盛況で開店と同時に人だかりができました。通りを歩くお客さんにも馴染みとなり、「次はいつするとね?」と尋ねられました。

今回は価格を安くしすぎたのが反省のひとつとなりました。

ちなみに売り上げは、おかげさまで 62,374円でした。  
準備や売り子でお手伝いしていただいたスタッフのみなさんおつかれさまでした。



## 糸島地球市民ふれあいフェスタ

5月21日(日)11:00から糸島青年会議所主催「第2回地球市民ふれあいフェスタ」がありました。「手をつなぐ会」のほか「明日のカンボジアを考える会」「パキスタン・ラホールに養護学校を建てる会」「オイスカ産業開発事業団」などのNGOや糸島にある障害者作業所「小富士園」「玄海学園」「TOMOホーム」「たんぼぼ作業所」「横断歩道」などが参加しました。

食文化の交流やそれぞれのグループの紹介、物品の販売などが催され、ステージでは民族舞踊、バンド演奏、子どもたちの歌や踊りもあり、たのしい交流ができた一日でした。

ラフマンさんやバン格拉デシュの留学生の方々が作った「シンガラー」(カレー味のバン格拉風揚げ餃子)は好評ですぐに売り切れ、残念ながら私の口には入りませんでした。  
(大木)



(4)



「レット・ミー・デイサイド」モーロイ氏講演会(5/17)において



## バンクラデシュと手をつなぐ会のお知らせを行ないました

5月17日(水)、早良市民センターでカナダの医師のモーロイ博士と看護婦のレーバーさんによるレット・ミー・デイサイド(事前指定書)の講演会が開かれました。レット・ミー・デイサイドとは、病気や事故により意志決定が出来なくなった時の治療法について、元気なうちに医師やケースワーカーや家族など話し合いを重ね、文書に残しておくシステムのことです。詳しくは福岡でのこの運動の推進者のひとりである二ノ坂さんにお尋ねください。事前指定書のシステムをカナダで考案され実行されているモーロイ博士が、講師として昨年に続き今年も福岡に招かれました。

この講演会にQLNET(九州ライフネットワーク)が後援でお手伝いをしました。そこで、QLNETに参加している「バンクラデシュと手をつなぐ会」もミロンを通じて講演会のお知らせしたり、当日ロビーにて入会パンフレットや物品の販売などで講演会を盛り上げました。参加された約250名の皆さんは、モーロイ博士やレーバーさんのお話を一生懸命に聞かれたのはもちろんのこと、私たちの展示ブースも熱心に見ていただきました。国際交流とは一見関係がないように思えるイベントにおいても、「いのち」を守り育てる団体の集まりであるQLNETなどを通じて広報活動を行なうことはとても意味深いことだと思われました。

## NGO福岡ネットワーク定例会が開かれました

5月20日(土)福岡学生交流会館にて  
NGO福岡ネットワークの5月定例会が開かれました。今回は岡山大学の田中治彦さんが書かれた「南北問題と開発教育」という本を教科書がわりにして、北九州大学の高柳さんが南北問題と国際協力といった内容のお話をされました。

この本はとてもいい本で、国際交流やNGOに興味を持たれている方には必読の書です。お求めは、亜紀書房 ☎ 03-5280-0261 に電話で注文されるといいと思います。1,900円と少々高い本ですが、内容は保証します。(別に亜紀書房から宣伝を頼まれたわけではありません!)  
なお、次回のNGO福岡ネットワーク定例会は7月15日です。場所等については、ミロンにてお知らせします。どなたでもご参加ください。

(5)



## バン格拉デシュのおはなし

### 福岡友の会幼児生活団で

5月26日午後、福岡友の会（婦人之友読者の会）幼児生活団6才組でバン格拉デシュのお話をしました。

生活団では毎年6才になると世界のいろいろな国のお話を聞いて、その国のお料理を頂くのです。村の子どもたちの様子、自然の中で動物や鳥と走ったり泳いだりして遊んでいることを話し、一緒にカレーライスやサラダを頂きました。

毎年連れていくペープサートの「シャヒーン」も一緒でした。

(大木)



5月20日(土)

京都(みやこ)看護専門学校の

## ナイチンゲール生誕祭で記念講演

「バン格拉デシュを通して見えてきたもの

～海外医療協力から、LET ME DECIDEまで」

(看護学生、教員、医師、看護婦など約150名が参加)

5月12日は近代看護の創始者と言われる、ナイチンゲールの生誕祭が世界中で行なわれます。行橋市の京都看護専門学校でも、5月20日に看護学生の手によって、おごそかな生誕祭が行なわれました。その後、記念講演として二ノ坂さんが、バン格拉デシュのことを中心にお話をしました。若い看護婦の卵たちは、バングラの子供たちのスライドに目を輝かせながら聞き入っていました。中には、将来看護婦として現地に行ってみたいという学生もいて、たいへん盛り上がりました。





て!



て!



しょう!

おしゃべり

## 現地訪問者事前研修会

〇日時 6月11日(日)午後1時から

〇場所 早良市民センター 和室

7月にカラムテイ村へ行く方々の  
研修会を企画します。

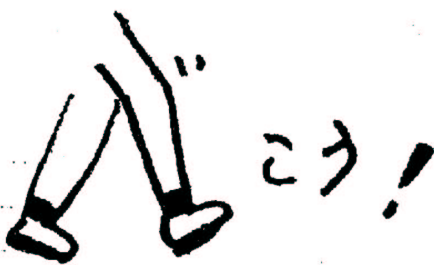
これまでのビデオを見ながら、現地  
の様子、学校、母子保健センターの  
事など事前の勉強をします。

最近会員になられた人、ビデオを  
まだ見ていない人、もう一度見たい  
人、興味のある人 どちらでも

かまいません。ぜひ参加

して下さい。

研修後 社行会 (近々  
食事会) を行ないます。



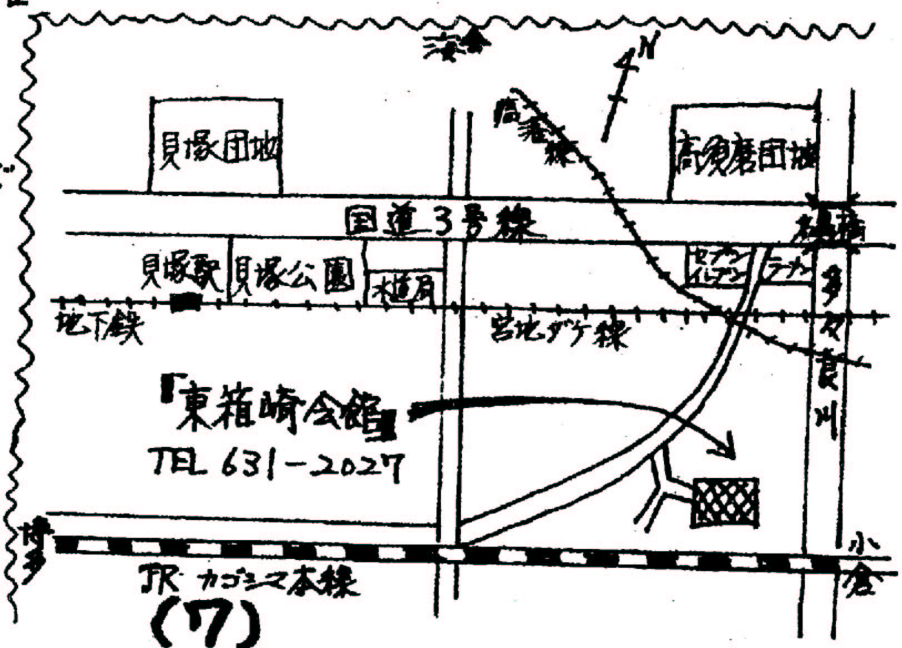
## バングラデシュ留学生の交流会

〇日時 6月18日(日)午後1時から

〇場所 福岡市立東箱崎会館

(下記見取図参照)

バングラデシュから福岡に勉強に  
こられている方との交流会を今年も  
企画します。各自一品持寄り、バン  
グラデシュ料理もある昼食会です。  
留学生の方々(ご夫婦の参加も?)  
と食べて、歌って、おしゃべりする  
楽しい会となるでしょう。ぜひご参加を!!



(7)



# おしらせ

## 募金ありがとうございました

- 碑文谷教会学校 26,000円
- 日本聖公会合同婦人会 21,394円
- ゆめ美容室 2,014円

### 運営委員会

□日時：6月18日(日)午後4時から

□場所：ラフマンさん宅(予定)

交流会終了後、続いて運営委員会を開催します。運営委員以外の方もご参加をお願いします。

### バングラデシュ留学生との交流会

□日時：6月18日(日)午後1時から

□場所：福岡市立東箱崎会館

バングラデシュから福岡に勉学にこられてる方との交流会を今年も行ないます。昼食を1品各自持ち寄ってご参加下さい。

### バングラデシュと手をつなく会

〒814

福岡市早良区西新5-5-13

FAX & ☎ 092(822)5795

代表 大木 松子

送金先 郵便為替

01720-2-10442

加入者名

バングラデシュと手をつなく会

### 作業日は

7月12日(水) 場所はいずれも

7月13日(木) 大木さん宅です

お手伝いよろしく申し上げます

